

第15回 IDBF 世界クラブカップ選手権 花蓮大会に参加して

松尾 由佳

期間：8月31日～9月6日

場所：台湾、花蓮

この度は上記大会に国際ドラゴンボート協会の国際競技役員として派遣していただきありがとうございました。
150名以上の応募者から約60名が今回IRO、国際競技役員として世界中から大会に参加いたしました。

菖蒲副理事長とともに8月30日に現地入りしました。

世界中から参加した国際競技役員には台北駅に集合後、台湾鉄道にて約2時間10分で花蓮、その後宿泊先のFarglory Hotel への移動でした。

31日は会場での準備、確認が行われ、夕方には参加チーム全員参加の開会式が行われました。県を挙げての一大イベントでした。5-6000人の参加者が町をパレード後会場に入り、よく準備された豪華な踊りや歌のパフォーマンスが行われました。

9月1日から6日はレース本番です。

競技役員は毎朝6:00 ホテル出発のバスにて約30分かけ会場へ向かい8:00 スタートのレースに備えました。

私の担当は召集。1-2日目は500m、6分間隔、約80レース、私個人的には経験したことない状況に正直ついていけませんでした。実のところIDBF主催の大会への参加ははじめてでしたので、職務に内容がはっきり分かっておらず、戸惑いました。それにもかかわらず、各チームのチェックのデータをまとめるチェッカーのチーフに役を当てられました。そのため、チェックに時間がかかりすぎ、レースの遅れに影響、迷惑をかけることとなりました。見かねたスタッフがすぐさま対応してくれて実務を行いつつ、指導してくれました。おかげで3日目以降は仕事をこなせるようになりました。驚いたのはサポートの迅速さ、手圧さ、そしてうまく仕事のできなかった私のことをあきらめず、育ててくれたことでした。

3-4日目は200m、さらにレース間隔は縮まり、レーススケジュールにおくれないように必死に業務を進めていきました。

9月4日にはIDBFのグレード2コースが行われ、楡木さんとともに講習を受講しました。テストはオンラインで行われ、ホテルに戻ってからの受験が可能、また、1つの課題が出題され、後日その課題についての口頭試問がありました。まったく自信のなかった私は香港の経験豊富な役員の方々にさらにご教示いただきテストに臨みました。

お陰様でグレード2に合格しましたことをあわせてご報告させていただきます。

そんな中、東京龍舟さんの2位、磯風漕友会さんの3位入賞の朗報を受けました。

ロケーションと過密業務のためレースはほとんど見ることはできませんでした。したがってJDBAのFBにもあまり投稿できませんでした。

5、6日目は2000mレースでしたので、召集はやっとゆとりのある状況となりました。

午前中は問題ないものの午後になると雨になるという地元の天候でした。

このような状況もありましたが、無事全日予定通り、または予定より早く日程を終えることができました。

2000mで韓国チームが一度転覆したものの全員無事でその他の大きな事故も病人もなかったようです。

このように全レース386レース、レース自体は6日間の大会は大成功のうちに幕が下ろされました。

準備、運営、対応、すべてに関して素晴らしい大会でした。

IDBFのスタッフ、また特にTDBFのスタッフの皆さんに心よりの感謝も申し上げたいと思います。

JDBAにおきましては改めましてこのような貴重な体験をさせていただき誠にありがとうございました。今後世

界の大会や海外チームを日本国内での大会に受け入れていく中で IDBF、つまり国際基準の運営や作業手順などを知ることで参考となると思います。

今後の国内のレースなどにもこの経験を反映できるように努力してまいります。
ありがとうございました。

Grade 1,2 取得者 (Last Gathering にて)



最終レース 386 レースの表示板とともに召集担当競技役員全員で。



召集場所での日本チーム

漕遊人



Yasha Dragons



磯風漕友会



東京龍舟

